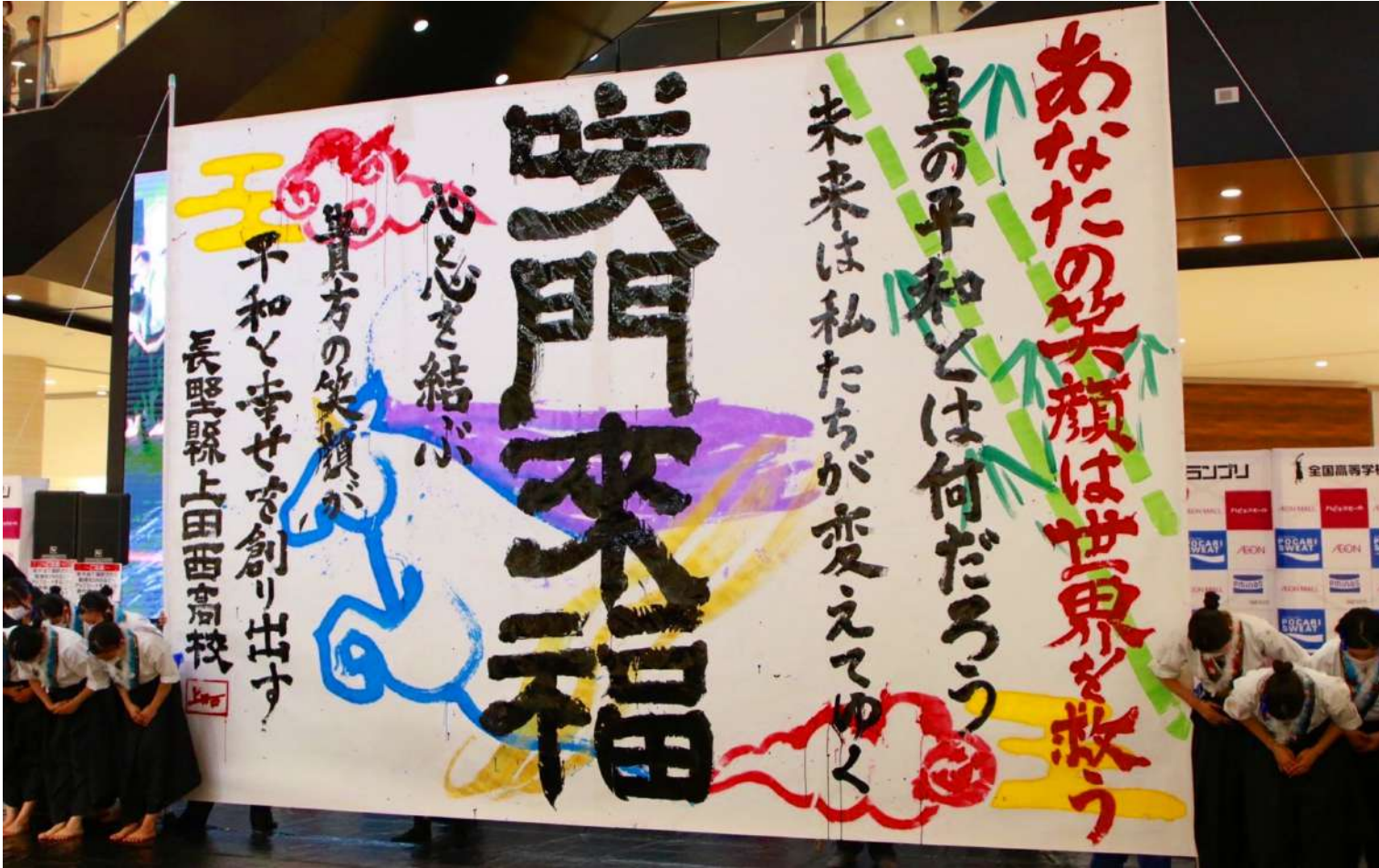


上田西書道部 全国へ

第2回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ 北信大会 優勝



第101号
発行
令和4年
9月26日(月)
上田西高校
新聞委員会
編集局
編集局長:藤田珠寿
新聞委員長:辺見咲良



北信大会で披露した作品「咲門来福」 写真撮影=藤田 珠寿



新調した「書志貫徹」のポロシャツを着用し前日の調整練習に臨む書道部員達 写真撮影=藤田 珠寿



北信大会優勝を果たした書道部の生徒達 写真撮影=藤田 珠寿

「書志貫徹」気持ちを一つに天辺へ 初披露から4カ月 「伝わる書」目指し成長

9月23日(金)に石川県白山市で開催された全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ北信(長野・富山・石川・福井)大会(主催・イオンモール 後援・全国道府県教育委員会連合会)に上田西高校書道部が出場した。予選の動画審査を通過し、北信大会に臨んだ書道部は、平和と笑顔をテーマに中央の大字「咲門来福」を制限時間の7分間で書き上げた。部長の小澤紗也華さんは、「笑う門には福来たる」今は大変な時代だが、笑顔は人と人との心結び、笑顔でいることは、平和にも繋がるんだ」と思いを込めて書いたと話す。

書道部は今年5月に善光寺町で初めて書道パフォーマンスを観客がいる環境で披露し、それから4ヶ月の間に5回の発表を行った。初めはただ単に作品を完成させることが目標だった部員達も経験を積み、今では見ている人に「どうやったら思いを伝えられるのか」を考えながら、パフォーマンスを行っている。その結果、ついに北信ブロックで「優勝」という素晴らしい成績を収める所まで到達した。小澤部長は、「正直ここまでいけるとは思ってもいなかったが、全国の強豪校に恐れず、高みを目指し、私達にしかできないパフォーマンスをしたい」と年明け1月8日(日)に岡山県で行われる全国大会への意気込みを語った。

審査では「全国のトップをよく研究し、隸書、造像記の書法をきちんと取り入れている」と評価された。3年生は今まで、コロナ禍で発表の機会がない中、半紙や条幅に隸書や造像記だけでなく様々な書体を練習してきたため、基本を抑えた素晴らしい出来映えとなった。

今回の結果に書道部顧問の白井道彦先生は「みんなよく頑張った。今やつとスタートラインに立つことができたので、目指すのは天辺ただ一つ。みんなの気持ちを一つに」と話した。気持ちを一つにするため新調されたポロシャツの背中には「書志貫徹」という文字が書かれた。これには「書に抱きみんなの思いや志を、最後まで貫き通す」という意味が込められている。背中に書かれた熱い思いと共に全国の頂点を目指す書道部の戦いが始まった。(藤田 珠寿)

書道パフォーマンス北信大会フォトギャラリー

